

水稲育苗ハウスの有効利用技術(暑熱対策技術)

土地利用型営農技術の実証研究(露地園芸)

背景・ねらい

大規模土地利用型経営体において、水稲育苗ハウスを活用し収益向上を図るため、夏季の厳しい暑熱環境下での作業を改善する暑熱軽減対策技術を開発しました。

成果の内容

- ①細霧冷房(状況により遮光を併用)でハウス内の気温を下げ、ファン付き作業着(空調服)、機能性シャツ、ネッククーラー、移動式小型ファンを組み合わせることで、頭部～胴体の表面温度の上昇を抑え、作業者の暑さが効果的に軽減できます。
- ②フード付きタイプの空調服を着用すれば、取り込んだ外気が胴体から頭部まで送風されるので、移動式小型ファンを使わなくても同等以上の暑熱軽減効果があります。



上半身暑熱対策

胴体表面温度 2°C 程度,
頭部表面温度 $4\sim 6^{\circ}\text{C}$ 程度
の降温効果



ネッククーラー
(適度な冷涼感が持続)

空調服

機能性シャツ
(吸汗速乾半袖シャツなど,
空調服の効果を活かす)

移動式小型ファン(頭部に送風)



研究担当機関

- 宮城県農業・園芸総合研究所
- 農研機構東北農業研究センター

お問い合わせ先

- 宮城県農業・園芸総合研究所(三県連携農業コンソーシアム宮城県拠点) TEL: 022-383-8118